

2025 年度（令和 7 年度）に新たに導入を予定する主な窓口デジタルツールについて

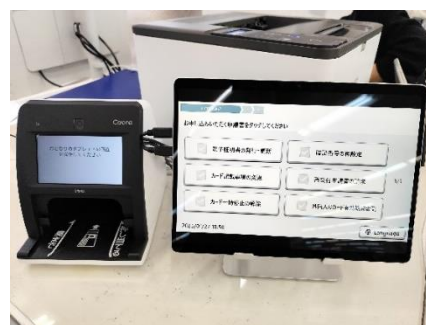
「デジタルツールを活用した窓口改革」に関して、できるところからツールの導入等を行っております。令和 7 年度に導入を予定している主な窓口デジタル化ツールについては下記の通りとなっています。

1 申請書作成支援システム…**書かない窓口**

マイナンバーカードや運転免許証の情報を読み取り、住所、氏名等が印刷された申請書を作成できるツール。複数枚の申請書が必要な際の時間短縮や、自筆が困難な方が申請される際などでの活用を想定しています。

【導入予定窓口】

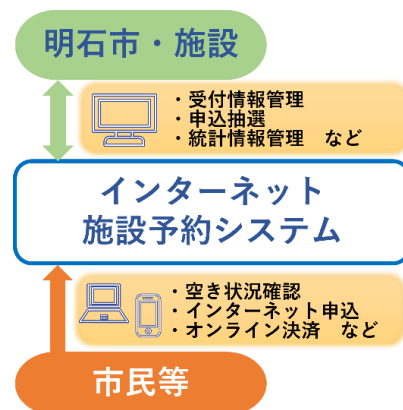
あかし総合窓口、市民課、大久保市民センター、魚住市民センター、二見市民センター、西明石サービスコーナー、障害福祉課、市民税課

2 インターネット施設予約システム…**行かない窓口**

明石市公共施設予約システムの更新を行い、使いやすさの向上やオンライン決済への対応などを行うほか、新たな施設についてもインターネット予約が可能となるよう、システムの導入・展開を図ります。

【導入予定窓口】

新規：明石中央体育会館、明石海浜公園、魚住北公園、17 号池魚住みんな公園、大久保市民センター、魚住市民センター、二見市民センター
移行：ウィズあかし、市民会館、西部市民会館、中崎公会堂、あかし市民ひろば

3 キャッシュレス POS レジ…**キャッシュレス推進**

市の証明書発行窓口等においての手数料の支払いについて、取扱量の多い窓口にキャッシュレス決済と POS レジの導入を進めます。

【導入予定窓口】

市民課、大久保市民センター、魚住市民センター、二見市民センター、市民税課、資産税課・納税課、天文科学館

